

謹んで
新春のお慶びを
申し上げます。

新しい一年が始まりました。今日から三六五
日間、二〇二六（令和八）年を、阿弥陀如来の
お光を頼りに、共々にご縁を感じながら、あり
がとうの心で歩ませていただきましょう。

さて、私たちは一年の始まりが「いつ」で、
一年の終わりが「いつ」なのか知っています。
そして一年が終わると、次の一年が始まるこ
とも知っています。知識として知っているだけ
ではなく、自分の体験として大晦日と元旦
を過ごしたことを知っています。

本願寺西山別院 輪番
得度習礼所・教師教修所 所長
西山幼稚園 園長

中原 敬恵



桜散る 梅はこぼれる 椿落つ
牡丹崩れて菊は舞う 朝顔しづむ
紫陽花しおれて 李はだれる

花はその最後を色々な言葉で表現されます。
花びらが萼や茎から離れていく様子を、桜はひ
らひらと散って、椿はボテっと落ちて、菊は小
さな花びらが宙を舞うように散っていく。儂く
も優雅な表現です。

私たちのいのちの終わりは、何と表現され
るでしょうか。「死」という漢字は、残された
骨を前に膝まずく人を表しているそうですが、
少し寂しい感じがします。浄土真宗では「往生
浄土」という言葉を使います。「往」はゆく、「生」
はうまれる。この世でのいのちの終わりは、阿
弥陀さまの国お浄土へ生まれさせていただくと
いう、大切な日でもあります。

では、皆さんは自分の誕生日をご存じで
しょうか。もちろん私も自分の誕生日を知って
います。でもそれは、両親に教えてもらった誕
生日であり、保険証や免許証に書いてある誕生
日であります。誰も生まれたその時が、誕生日
といわれるその日だったかどうか、確認して生
まれてはいないでしょう。そして同じよう
に、私たちは自分の命日をこの日だと確認して
迎えることは出来ないのです。私が生きている
このいのちの始まりと終わりを、私たちは自分
の体験として知ることが出来ないのです。

親鸞聖人は著書『顯淨土真実教行証文類』の
中で、淨土へ生まれたいと願えばたちどころに
往生すべき身に定まり、不退転の位に定まると
説いてくださっています。この世でのいのちの
始まりも終わりもわからない私ではあります
が、お淨土へ生まれることは定まっていて、搖
らぐことがないことなのだというのです。どの
いのちも同じようにお淨土へ生まれさせていた
だく。だからこそまた会う世界がある「俱会一
処」といわれるのです。

桜散る 梅はこぼれる 椿落つ：の続きに、「我
がいのちは生まれ往く」とでも入れましょうか。
どうぞ本年もよろしくお願ひいたします。
どうぞどうぞ、生まれ
往くいのちのお話を聞き
に、本願寺西山別院へお
参りくださいませ。

第59号

久遠 -QUON-

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町
29番地
Tel:075-392-7939
Fax:075-394-4416
e-mail: nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

本願寺西山別院 ホームページ

西山別院の
「あんな情報」「こんな情報」
発信しています！



ホームページ



Instagram

淨土真宗の生活信条

一、み仏の誓いを信じ

尊いみ名をとなえつつ
強く明るく生き抜きます

一、み仮の光をあおぎ

常にわが身をかえりみて
感謝のうちに励みます

一、み仏の教えにしたがい

正しい道を聞きわけて

まことのみのりをひろめます

一、み仮の恵みを喜び

互いにうやまい助け合い

社会のために尽くします



上の段 左:光林智勝 中央:藤木祐大 右:久野俊英

下の段 左:亀井正章・埜上孝樹 中央:輪番 中原敬恵 右:大辻子佐知子・石田彰信

年頭の抱負

石田 彰信

早寝早起き、生活習慣を見直し、規則正しい生活を継続する！

光林 智勝

健康が気になる年頃になりました。
おかげさまで息子が一歳を迎えました。
健康な体づくりを目指します。

藤木 祐大

あけましておめでとうございます。
おかげさまで息子が一歳を迎えました。
今年も三人四脚で頑張ります。

亀井 正章

今年も表なしの心で…。

久野 俊英

今年こそ生活習慣を見直し、ジムに通
い始めたいです。

埜上 孝樹

今年は忘れ物を減らしつつ、心も忘れ
ず丁寧に過ごしたいです。

大辻子 佐知子

すぐ興味が出て、すぐ手を出して、そ
してすぐ飽きたを繰り返したここ数年…
今年こそ何かを継続していきたい！
(何を継続させるかはこれから考えます。)

佛教婦人會

「角坊 報恩講參拜」

十月七日（火）、角坊の報恩講に仏教婦人会の皆さまと参拝いたしました。



大師影供作法のお勤め



開山さまと記念写真

十一月十一日（火）に、仏教婦人会で日
帰り研修旅行を行ってきました！参加者は
十三名。朝八時二十分に西山別院を出発。
先ずは、西本願寺の南隣にある真宗興正
派の御本山「興正寺」へ。

阿弥陀堂・御影堂を参拝させていただきました。金襴や彩色が鮮やかなお堂は、とても素晴らしい参加者一同魅了されました。

お昼からは、南丹市の美山町へ向かい美山鶏のランチを美味しくいただき、食後は国的重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「美山かやぶきの里」ガイドツアーに参加いたしました。

ガイドツアーでは、景観を見るだけではわからない、かやぶき屋根保存の取り組みや、人々の暮らし、屋根の仕組みなどについて地元の方が説明してくださいました。

仏教婦人会では、会員募集中です。月に一度、阿弥陀さまと一緒にしませんか?

帰路は「美山道の駅」や「道の駅ウツディー京北」に立ち寄つてお土産を購入。渋滞にあいながらも無事に西山別院まで帰つてくることができました。

仏教婦人会では、会員募集中です――月に一度、阿弥陀さまと一緒にしません？

「基督教婦人會研修旅行」

仏教婦人会
一日研修旅行に
行きました!



角坊（京都市右京区）
親鸞聖人が晩年にお住まいになつた
「善法坊」跡とされ親鸞聖人ご往生の地
です。角坊は、親鸞聖人七五〇回大遠忌
事業の一環として、旧伽藍建物を除却し、
境内地の整備が行われました。ご本尊が
ご安置されている新築の還淨殿は、六間
四面のひのき造りで、正面欄間には聖人
ご往生の様子が彫刻・装飾されています。



開山さまと記念写真

御影堂で記念写真



魚鮮やかなお嘗



興正寺



【逮夜法要】宗祖讚仰作法 音楽法要



【初夜法要】正信念仏偈(行譜)



【晨朝法要】往生礼讃(日没偈)



【日中法要】報恩講作法

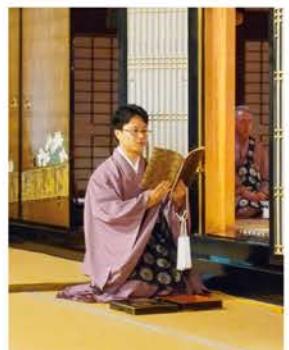


報恩講は、浄土真宗の門信徒が一年間で最も大切にする御仏事です。御本山（西本願寺）の御正忌報恩講にさきがけて、当別院では、十月二十一日（火）の幼稚園報恩講に始まり、二十二日（水）、二十三日（木）の三日間にわたり、報恩講法要を厳修いたしました。三日間の参拝者は、西山幼稚園の園児を含めて延べ三〇〇人以上で、二十二日の逮夜法要には、本願寺角坊より佐竹顕主管のご参拝を賜りました。

お念佛の道をお示しくださった親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念佛に遇えた喜びをこの身に受け、参拝者一同が合掌し、声高らかにお念佛申しました。また、二十三日の日中法要後には、対面所でお齋（命の尊さ、食べものの有り難みを味わう食事）をいただきました。



祖師前焼香



御俗姓持誦



雅楽の調べ



お齋



御絵伝(右余間)



書院の生花

華籠

報恩講法要



講師 本願寺派布教使
大阪教区 川北組
本照寺住職
鶯地 清登 師
おおち きよと

本願力に遇う



報恩講の恩には、「なされたことを知る」という意味があります。原因の因という字の下に心と書きます。お布団の上に、人が大の字で寝ている様子からできた漢字です。お座布団の上に、赤ちゃんが大の字で寝ていて、安心している姿です。本人は、全く気づいていませんが、周りの方々が、安心して寝ることができるよう、守り、支え、育ててくださっているからこそ、赤ちゃんは、安心して寝ることができたのでしょうか。私たちは、ついつい自分が頑張ってきたから今があると思ってしまいますが、私

たちは、みんな何もできない赤ちゃんで生まれてきました。そんな私を育ててくださった方々がおられたからこそ、今の私があります。自分の力で生きてきたと思っていました私が、そうじやなかつた、生かされてきた私であると気づかされます。

また、こちらのご本堂は、元々は、ご本山にあった仮本堂が移築された、貴重なご本堂です。今は、皆さまがお護りくださっていますが、これだけ大きなご本堂を、命をかけて、ずっと護ってきてくださった方がおられました。先人方が護ってくださったからこそ、本日、ご一緒に、ご本堂に集うことができました。まさしく、なされたことが知られます。

そして、親鸞さまのご臨終のご様子を、本願寺第三代覺如上人が、「御伝鈔」をもって、お示しくださっています。親鸞さまは、体調を崩された後は、世間のことをおっしゃることなく、ただ阿弥陀さまのご恩の深いことを述べられ、お念佛をお称えになりながら、「往生なされました。お念佛をお称えになられていたのは、決して「お助けください」という意味ではなく、阿弥陀さまから賜ったご恩に、心よりお礼をなさっていたお姿です。そのお姿から、学ばせていただることは非常に大きいと感じます。

人生を振り返るなかで、「あれがなかつた、これがなかつた」と、不平不満を言いながら、人生を終えていくのか。それとも、「悲しいことも、苦しいこともあつたけれども、数えきれない方々に支えられて、育てられて、自分にしか歩めない尊い人生を歩ませていただきました。おかげさまです。ありがとうございます」と人生を終えていくのか、同じ人生でも、大きな違いがあるのではないかでしょうか。

合掌



讃仏偈律曲



高島 幸博 師
お焼香

令和七年九月二十三日（火曜日・秋分の日）、秋季彼岸会を厳修いたしました。
中原輪番導師のもと「讃仏偈律曲」が勤まり、引き続き、「西のはて」の講題で本願寺派布教使高島幸博師（大阪教区茨木東組専念寺）よりご法話をいただきました。

秋季彼岸会

西山幼稚園 令和7年



全園児でお参りをしましたよ



代表園児



仏さまのお姿の説明をきました

西山別院の報恩講に先立ち、十月二十一日に西山幼稚園の報恩講を本堂でお勤めしました。当園児が本堂に着席し、保護者のみなさまも堂内に入つて一緒にお参りです。

まず初めに、音楽に合わせて年長組の代表がののさまの前にお花とロウソク、お香をお供えします。続いて、小さなお念珠に手を通して、みんな大きな声で「きーみょーむーりょーじゅーによらーい」とお歌でお勤めをします。

その後は、園長先生から、「いのちは一つで、私のい

ち、十月二十一日に西山幼稚園の報恩講を本堂でお勤めしました。当園児が本堂に着席し、保護者のみなさまも堂内に入つて一緒にお参りです。

のちもお友達のいのちも大切なんだよ」というお話しや、「私たちの好き嫌いはよく変わるけど、ののさまはずっと変わらず私たちを大好きでいてくださいま

す」というお話を聞かせてもらいました。子どもたちは園長の問いかけに一生懸命お返事をして、自分の考えを教えてくれていました。ののさまのように、いつもでもお友達を大切にできる人でいてくださいね。

上手にお参りが出来たので、お供えていたお菓子をみんなでいただきました。

西山幼稚園 令和7年

報恩講



みんなでダンス♪



運動会がはじまるよ



リレー

バルーン大成功!!



十月六日、週末の雨で延期の延期となつた西山幼稚園の運動会は、当日も朝まで少ししぐれた空模様。それでも子どもたちが入場門をくぐつて行進するところには、きれいな青空が広がつてくれました。

白洲はいつもと違つてクラスの応援旗や万国旗が飾られ、賑やかな雰囲気。子どもたちは、本堂のののさまにご挨拶をし、「頑張るぞ！おー」と気合を入れて競技が始まります。

小・中学生の式では、優勝旗やトロフィーが代表のお友達に手渡され、全員金メダルとお土産をもらって、ニコニコの運動会は終了です。みんなよく頑張りました！

終わりの式では、優勝旗やトロフィーが代表のお友達に手渡され、全員金メダルとお土産をもらって、ニコニコの運動会は終了です。みんなよく頑張りました！



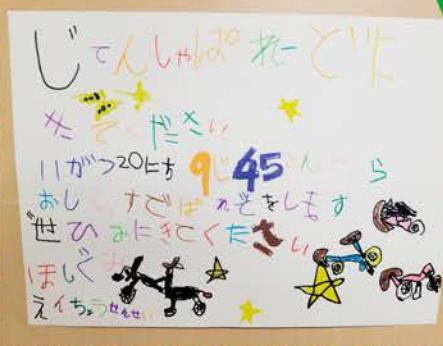
プリンにへんしーん!!



わくわくドキドキ!!

運動会





今年も、年長組のお友達が素敵
な案内状を届けてくれました。白
洲で開催される自転車パレードの
お誘いです。

練習が始まったころは、乗れる
子もいれば、乗れない子もいて、
ハラハラドキドキ。パレードなの
で、スピードを調節して前の人を
抜かさず、ぶつからず、乗りこな
さなければなりません。これがな

なかなか難しいのです。
当日は、みごとに大成功！見に
来ていた保護者のみなさまからも
大きな拍手をもらつて、ちょっと
自慢気で、とつても嬉しそうな子
どもたちでした。
これからも安全運転で自転車に
乗つてくださいね。

自転車パレード



毎朝何時から
お仕事しているのですか?
何年前からありますか?
どうやってお寺を
作ったんですか?
色々な質問を受けました。



学習の一環として「まちたんけん」をテーマに十一名の子供たちが来院されました。中原輪番が本堂やご本尊（阿弥陀如来）について説明をいたしました。

本堂（京都府指定有形文化財建造物）後ろの長い廊下では、雑巾掛けの体験して歴史と文化の大切さを実感して頂きました。

令和7年11月14日(金)

「まちたんけん」の学習で 京都市立川岡小学校 2年生の子供たちが来院！

日時

11月1日(土)

いちょうまつり in 西山別院

当院のシンボルツリーである大銀杏にちなんで
秋のイベント「いちょうまつり in 西山別院」を開催いたしました。

午前は、七五三奉告法要(めぐみの参拝)を厳修いたしました。

午後からは、本堂でフラダンス、ミニコンサートなどのイベントを行いました。

また、本堂外陣では、令和六年五月に八面全ての修復が終わった重要文化財「松に藤図」「桜に牡丹図」(徳力善宗作)の終日展示が行われました。



桂高校の生徒さんによる草花・野菜の販売

白洲境内では、地元のコーヒー店やお弁当屋さんが出店。キーバーサンド、そば、クレープなどの美味しいお料理からデザートまで、三台のキッチンカーも集合しました。物販ブースでは、手作り市(フリーマーケット)や桂高校の生徒さんによる草花・野菜の移動販売と盛り沢山で約500人を超える方々に来院いただきました。となりました。

大玄関では、終戦八十年の節目に平和の尊さ、戦争の恐ろしさを再認する機会として「原爆と戦争パネル展」を開催いたしました。



原爆と戦争パネル展



手作り市・フリーマーケット



射的



ストラック
アウト



ご報告

この度、いちょうまつり in 西山別院を開催するにあたり、龍谷山本願寺住職大谷光淳様より「百華金庫」直轄寺院・直属寺院教化助成金の交付をいただきました。心より感謝申しあげます。今後も、お寺との縁づくり並びに地域との連携強化に取り組んでまいります。

本願寺西山別院 七五三奉告法要

めぐみの参拝

いちょうまつり in 西山別院の行事として「七五三奉告法
要めぐみの参拝」をつとめました。参拝のご家族は、本堂の
前で記念写真を撮ったり、フォトスポットの風船で遊んだり
境内の各所で楽しんでおられました。

法要中は雅楽が奏され、中原輪番調声
のもと「らいはいのうた」を読経し、お
子様の成長を阿弥陀さまに奉告させて
いただきました。

いのちをいただき健やかに成長したこ
とを阿弥陀さまにご奉告いたしました。

七五三奉告法要 次第

- 一 行事鐘
- 一 縁機参進
- 一 雅楽依用
- 一 お焼香
- 一 「らいはいのうた」
- 一 おはなし
- 一 記念写真



本願寺西山別院 七五三奉告法要紀念

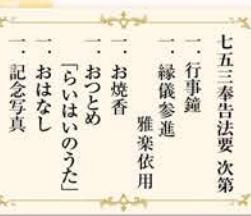
2025(含税)年11月1日



中原輪番のおはなし



らいはいのうた



縁儀 雅楽の調子



焼香前に
塗香をいただきました



「もつたいない」「から
」「ありがとう」へ

令和7年の10月から11月にかけて、西山別院フードドライブを実施いたしました。段ボール二箱分の「寄付をいただき、総重量「720kg」のおこし籠もる「食財」が集まりました。

今回もワードアドバイス京都様へお渡し
し、必要とされたら方々へ届けられます。
私どもの「もつたらない」が誰かの「あり
がとう」になるなど嬉しく思います。
西山別院では、今後も継続してワードアド
バイス活動を行っていきます。

予告 次回のフードライブは、令和7年12月19日～令和8年1月18日に開催する予定です！



「フレードライブ（寄付）」とは、家庭で眠つて
いる食品、消費しきれない食品を回収して、子
ども食堂など必要とされている方々へお届けす
ることで、食品ロスの削減や生活支援に繋げる
ことが出来るボランティア活動です。

慈しみのお話
vol.4

もちつき ぺったん

文
亀井遊学
大辻子和奏



おてらの ようちえんには
もちつきたいかいが
あるんだよ。

ぼくも ともだちも
せんせいも
よいしょ ぺったん！
よいしょ ぺったん！
だんだん おもちが もつちもち！

できあがつたら ののさまに
おもちを おそなえいたします。
そして みんなと おもちを
わけわけして いただきます。
おかげさまで いただく おもち。
みんなの きもちが こもつていてる。
よくかんで よくかんで おいしいね。

一九八八(仏歴二五三一)年一月二十日～二月三日
仏教の開祖である釈尊が、お生まれになり、悟りを開かれ、法を説かれ、入滅された地インド。日本人が古より「天竺」と仰いでいたインド。かつては遠い遙かな国「天竺」も今では日本から飛行機で八時間ほど。釈尊の足跡を慕い巡回された柳瀬千代子さんの紀行文です。

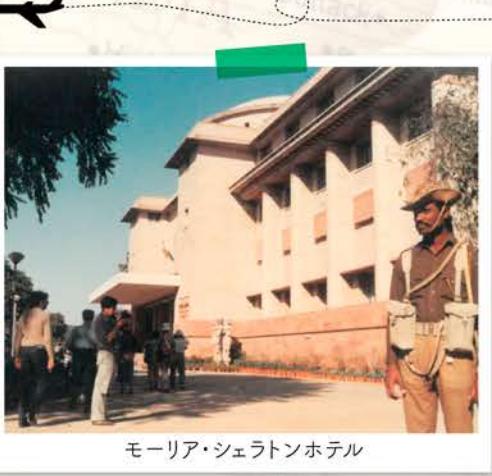
オールドデリ 朝もやの中、デリーからボバールへむかう。国内線であるが日本人も多く、でもさすがインド人が多い。途中ゴアの空港にて半分の人が降りる。

太陽が飛行機の窓に夜明けを告げる。紅にもえて朝の光をなげ入れる。七時五分の日の出は、おそいと感じる。ここでも、先生、朝一、二度下痢をされたとのこと。

急いで抗生物質をのんでいただく。なかなかお体を大切にされていたのに。不機嫌である。あれ程、消毒係の私であったが、「かえってそのことが体を弱くするのだ」と云われれば心しばむ思いである。やはり印度の雑菌は、私達には強すぎるのか。

昨夜のホテルはすごいものであった。全く立派なものだ。春のシーズンはインドでも結婚式が多いという。若い二人は首に祝福のお金を首かざりのようにぶら下げて、うれしそうである。百人位もいるだろうか。美しく着かざつてきらびやかである。

一月三十日



× インド紀行 佛足に額づいて ⑯

西山別院仏教婦人会会員
柳瀬千代子



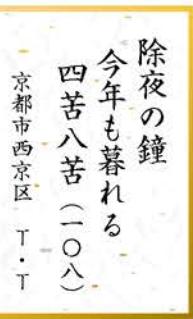


MARCO

久遠俳壇

皆さんからの
投稿句を
お待ちして
います!

$$\begin{aligned} 4 \times 9 &= 36 \\ 8 \times 9 &= 72 \\ 36 + 72 &= 108 \end{aligned}$$



【投稿規定】ハガキに三句以内、住所・名前(年齢)・俳句は楷書で、久遠「俳壇」まで

※他紙誌への二重投稿はお控えください。



ぎんなん出来たよ!

西山別院名物の「ぎんなん」
今年も境内の銀杏の木がたくさん
実させてくださいました。
味が濃くて美味しいと評判の一品です。



希望の方にお配り
していますので
是非お声かけくださいね。
(無くなり次第終了です)

つよしさん
今年もありがとうございます!

辻侃さん
つじつこ

団体参拝
光連寺インド会さま
令和7年11月4日



本年もようしくおねがいいたします😊

あなたの便りや写真を
お寄せください。

〒615-8107 京都市西京区川島北裏町29番地
本願寺西山別院「久遠お便り」係
e-mail: nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

投稿には、お名前(ニックネーム可)、ご住所、お電話番号をお忘れなく。作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却はいたしかねますので、あしからずご承ください。

令和七年八月に発生した低気圧や前線による大雨により、熊本県、鹿児島県など各地で浸水や土砂崩れなどの人的及び家屋への被害が発生し、浄土真宗本願寺派の寺院、門信徒においても被害が報告されております。被災された方々の一日も早い復興を願い、秋季彼岸会にてお願いいたしましたところ、お心こもる募金一万円が寄せられました。

皆様からの募金は、浄土真宗本願寺派伝道本部社会部を通じて、現地で支援活動を行う団体等へ送られ、被災者支援に充當されます。ご協力賜り、厚く御礼申しあげます。



「浄土真宗本願寺派
たすけあい運動募金」
のご報告と御礼

二〇二六(令和八)年 法要日程

元 旦 会	一月一日(木・祝)	午前七時より
春季彼岸会 (永代経法要)	三月二十日(金・祝)	午前十時より
覺 祖 会	四月二十二日(水)	遅夜法要・午後二時より
孟蘭盆会(本堂)	四月二十三日(木)	初夜法要・時間未定
秋季彼岸会 " (和合海)	五月十四日(金)	晨朝法要・午前七時より
報恩講法要	九月二十二日(水・祝)	日中法要・午前十時より
除 夜 会	十月二十三日(木)	午前九時三十分より
報恩講法要	"	午後二時より
秋季彼岸会 " (和合海)	十一月二十二日(木)	午前十時より
報恩講法要	"	逮夜法要・午後二時より
除 夜 会	十二月三十一日(木)	初夜法要・時間未定
時間未定	時間未定	日中法要・午前七時より

*各法要日程につきましては、予定であり変更することがござりますので、最新の法要案内をご確認ください。

二〇二六(令和八)年 年回表

年回忌	亡くなられた年
一 周 忌	二〇二五(令和七)年
三 回 忌	二〇二四(令和六)年
七 回 忌	二〇二〇(令和二)年
十三回忌	二〇一四(平成二十六)年
十七回忌	二〇一〇(平成二十二)年
二十五回忌	二〇〇二(平成十四)年
三十三回忌	一九九四(平成六)年
五十回忌	一九七七(昭和五十二)年

この「年回表」と皆さまのお宅にある「過去帳」を参考の上、年回法要、ご命日のお参りをご希望の方は、あらかじめ当別院までご連絡ください。

電話 ○七五・三九一・七九三九

